

- | | | | |
|----|---|--------------------------|--------------------------|
| 1 | 労働組合が使用者と賃金や労働条件について話し合う権利を何という？
① 労働基本権 ② 団体行動権 ③ 団体交渉権 ④ 団結権 | ☐ | ☐ |
| 2 | 組合員が団結して業務を拒否するなどの実力行使を行う権利を何という？
① 団結権 ② 団体行動権 ③ 団体交渉権 ④ 労働基本権 | ☐ | ☐ |
| 3 | 労働条件の維持や改善を目的として、労働者が自主的に組織する団体のことを何という？
① 労働組合 ② 使用者 ③ 労働委員会 ④ 労働基準監督署 | ☐ | ☐ |
| 4 | 団体行動権の行使として、労働者が仕事をするのをやめて要求を通そうとする行為を何という？
① 怠業 ② ロックアウト ③ ストライキ ④ サボタージュ | ☐ | ☐ |
| 5 | 団体交渉がうまくいかない際、労働者が自らの要求を実現するために圧力をかける権利を何という？
① 団体交渉権 ② 労働基本権 ③ 団体行動権 ④ 団結権 | ☐ | ☐ |
| 6 | 「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」など、人間らしく生きる権利を何という？
① 生存権 ② 参政権 ③ 教育を受ける権利 ④ 勤労の権利 | ☐ | ☐ |
| 7 | 労働者と使用者が行うストライキのような対立的な行為のことを何という？
① あっせん ② 仲裁 ③ 争議行為 ④ 調停 | ☐ | ☐ |
| 8 | 株式会社において、株主総会で選ばれ、実際の会社運営を任される経営の専門家を何という？
① 会計参与 ② 執行役 ③ 取締役 ④ 監査役 | ☐ | ☐ |
| 9 | 企業の所有者である株主と、実際に会社を運営する経営者が異なる仕組みを何という？
① 企業の合併 ② 資本の集中 ③ 所有と経営の分離 ④ 多角化経営 | ☐ | ☐ |
| 10 | 労働組合が賃金や労働時間の改善などを求めて、使用者と話し合うことを何という？
① あっせん ② 団体交渉 ③ 争議行為 ④ 緊急調整 | ☐ | ☐ |
| 11 | 日本国憲法第28条で保障された、労働者が使用者と対等に交渉するために労働組合を結成する権利を何という？
① 団体交渉権 ② 労働基本権 ③ 団結権 ④ 団体行動権 | ☐ | ☐ |
| 12 | 株主総会において、会社の経営方針などの決定に参加するために、株主が持つ権利を何という？
① 拒否権 ② 経営権 ③ 優先交渉権 ④ 議決権 | ☐ | ☐ |
| 13 | 株式会社の所有者であり、出資することで会社の運営に関与する人を何という？
① 経営者 ② 従業員 ③ 株主 ④ 債権者 | ☐ | ☐ |
| 14 | 日本国憲法第28条で保障されている、団結権・団体交渉権・団体行動権をまとめて何という？
① 法の下の平等 ② 労働三権 ③ 社会権 ④ 基本的人権 | ☐ | ☐ |
| 15 | 株式会社が経営に失敗した場合でも、株主は出資した金額の範囲内でのみ責任を負う原則を何という？
① 無限責任 ② 無過失責任 ③ 有限責任 ④ 連帯責任 | ☐ | ☐ |
| 16 | 株主総会によって選任され、株式会社で実際の経営業務を行う責任者を何という？
① 取締役 ② 監査役 ③ 会計参与 ④ 執行役 | ☐ | ☐ |



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	労働組合が労働者の代表として、経営者側と賃金や労働時間などの労働条件について交渉する権利を指します。		3 団体交渉権	☐
2	争議権は団体行動権の一部です。		2 団体行動権	☐
3	労働組合は、労働者が自らの権利を守り、賃金の引き上げや労働時間の短縮、職場の安全確保などを求めて使用者と交渉する組織です。		1 労働組合	☐
4	ストライキは「同盟罷業」とも呼ばれ、職場を放棄することで会社に経営上の圧力をかけ、交渉を有利に進めることが目的です。		3 ストライキ	☐
5	憲法で認められた労働基本権の一つで、労働組合が要求を実現するためにストライキ（同盟罷業）や怠業を行う権利です。		3 団体行動権	☐
6	生存権は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という権利です。		1 生存権	☐
7	「争議行為」とは、労働組合が要求を実現するために行うストライキや怠業などの行為を指します。		3 争議行為	☐
8	取締役は、株主総会で選任され、会社の業務執行に関する決定や監督を行います。		3 取締役	☐
9	そこで、出資者である株主は経営の意思決定のみを行い、実際の日常的な業務や運営は、選ばれたプロである取締役に任せるようになりました。これが「所有と経営の分離」です。		3 所有と経営の分離	☐
10	団体交渉は労働者が団結し、労働組合を通じて賃上げや労働時間の短縮などを要求する行為です。		2 団体交渉	☐
11	憲法第28条で保障される労働基本権の一つです。		3 団結権	☐
12	議決権は、保有している株式の数に応じて与えられます。		4 議決権	☐
13	株主は、自分の出したお金（出資額）を限度として責任を負う有限責任を負います。		3 株主	☐
14	労働三権は、労働組合を作る「団結権」、組合が使用者と交渉する「団体交渉権」、ストライキなどを行う「団体行動権」の3つです。		2 労働三権	☐
15	そこで定められたのが有限責任の原則です。		3 有限責任	☐
16	取締役は株主総会で選ばれ、会社を代表して日々の経営判断や業務執行を行います。		1 取締役	☐

言えなかった用語ノート